

地域に学び、地域に返す コミュニティスクールと地域コミュニティ

嬉野市の各学校は「学校運営協議会制度」を取り入れています。コミュニティスクールと言われ、地域全体（住民）で学校と共に、子供達を育てようという制度です。

また市内各地区には地域コミュニティがあり、様々な地域に根ざした活動を行っています。その中の「青少年育成部会」という部会が中心となって学校教育に様々なサポート（お手伝い）をしています。目的は・・・

「地域で安全に育てて地域を愛する子供、地域を未来につなげる若者を育てる」

現代は「総がかりで育てる時代」とも言われます。久間小学校も地域連携の教育活動がとても盛んです。地域の人たちがいろいろなことで学校に向き、授業のお手伝い、活動のサポートをして子供達から元氣と笑顔をもたらして帰っていきます。

いろいろなサポートが年間を通して計画されています。大人だったら出来るものばかりです。皆さんの身近な方も参加しますよ。興味があればの方はコミュニティ事務局に連絡ください。

青少年育成部会

ウナギ・モクズガニ稚魚放流体験



放流開始！！



↑ウナギさん、帰ってきてね

堰が倒れて水が流れだす→

6月22日（水）、市の農政課のウナギ・モクズガニ稚魚放流事業を久間小学校4年生が体験しました。前日までの雨が心配でしたが、当日は川の水かさも下がり一安心。元高校の生物教師坂本兼吾氏から事前の授業を受け、引率の先生、地区のサポートと歩いて学校から牛坂区の八幡川親水公園まで。各々のバケツにウナギやカニを入れてもらい川に放流しました。おっかなびつくりの面持ちでそつと川に流す子供たち。放流だけでなく、そこに生息する魚や環境に優しい魚道、可動堰の実演などいろいろなことを実体験しながらの学習は机の上だけでは得ることの出来ない貴重なものだと感じました。



1年生芋さし



6月9日（木）、地域連携教育で一年生の「芋さし」がありました。コミュニティからサポート6名が参加。対面式を終えて、志田会長から苗の植え方を習ったあとみんなでぎやかに植えつけました。12月の収穫が楽しみです。これでお芋パーティーすっぱい」と言いながら水やりまで一生懸命。最後に「一年一組の歌」も披露してくれました。

見守り隊との交流会



出席者だけでも35名！！

6月15日（水）久間小体育館で「子ども見守り隊」と児童との交流会が開催されました。地域で子供を見守る多くの人が自己紹介し、後半は地区ごとにご子供たちが自己紹介などして交流を深めました。知ってる人が多いのが防犯の第一歩ですね。

